

危機管理課

○ 防災関係

1 災害対策本部関係

伊勢市地域防災計画に基づき、災害の防止・軽減・応急対策を迅速に実施するため、災害対策本部を設置した。

(1) 本部設置回数 10回

設置年月日	警報・注意報名	備考
29. 4. 17～29. 4. 18	大雨警報、雷・強風・波浪・洪水注意報	
29. 6. 21	大雨・洪水・波浪警報、雷・強風注意報	
29. 8. 7～29. 8. 8	大雨・洪水・暴風・波浪警報、雷・強風注意報	
29. 8. 11	大雨警報、雷注意報	
29. 9. 17～29. 9. 18	大雨・暴風・波浪警報、雷注意報	台風第18号
29. 10. 22～30. 2. 1	大雨・洪水・暴風・波浪警報、雷・高潮注意報	台風第21号
29. 10. 24	大雨警報	
30. 1. 26	曾祢1丁目建物火災	
30. 3. 8～30. 3. 9	大雨・波浪警報、強風・雷注意報	
30. 3. 21～30. 3. 22	大雨・波浪警報、強風・雷注意報	

(2) 被害状況（非住家を除く）

年月日	29. 10. 22～30. 2. 1	30. 1. 26	
家 屋	床上浸水	409戸	
	(大規模半壊)	(13)	
	(半壊)	(73)	
	(一部破損)	(323)	
	床下浸水	670戸	
	全焼	—	8棟
	部分焼	—	4棟

(注1) 括弧書きについては、床上浸水の内訳。

(注2) 台風第21号の被害状況については平成30年3月31日現在。

2 平成29年台風第21号への対応

(1) 災害対応の概要

平成29年10月22日から23日にかけて伊勢市を襲った台風第21号は、観測史上最大の雨を降らし、その結果、市内各地で河川の氾濫や内水氾濫により被害が発生し、災害救助法、被災者生活再建支援法が適用される大きな災害となった。また、農林水産関係の被害に対しては激甚災害として指定され、農地等の災害復旧事業等に対して国庫補助の特別措置を指定する政令が公布・施行された。

22日の大雨警報（土砂災害）発表に合わせて災害対策本部を設置し、災害対策本部長（市

長)以下115名が参集し、災害対応を開始した。気象状況や河川水位に合わせて順次避難勧告等を発令し、避難所の開設を行い、ピーク時には564世帯、1,262人が避難した。

23日から、被災者生活再建にむけた業務を開始し、台風第21号に関する対応の詳細は、災害対応記録としてとりまとめた。

事業名	決算額	主な事業
応急復旧経費	41,652千円	被害を受けた道路(農道含む)や排水機場、河川等の災害復旧工事や清掃業務、浸水被害を受けた公共施設の機能回復等の応急復旧を実施した。
被災者支援経費	4,722千円	被災者の生活再建を支援するため、災害調査や家屋等の消毒業務、避難所の借上げ、災害ごみ処分などの業務を実施した。

(注) 応急復旧経費及び被災者支援経費の決算額については、平成29年度に各課で支出した同事業の経費を集計。

(2) 対応へのふりかえりの実施

台風第21号の対応について、ふりかえりを実施し、今後の災害対応に繋げるため、課題の抽出を行った。

- ア 実施年月日 平成30年1月25日(木) 9:00~16:15
- イ 参加者 市長、副市長、部長級~一般職 約100名
- ウ 講師 菅野 拓 氏(人と防災未来センター主任研究員)
- エ 実施内容 「伊勢市地域防災計画に基づいて台風第21号の対応ができたのか」を実際の行動と照らし合わせ確認し、改善が必要な点等を取りまとめた。

3 自主防災隊補助事業

伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、防災資機材や備蓄食料等の整備及び訓練に対し、次のとおり補助金及び助成金を交付した。

- (1) 自主防災組織結成数 130隊
- (2) 訓練助成金 89件 2,670,000円
- (3) 防災補助金 172件 17,975,000円
 - ア 自治会 63件 2,898,000円
 - イ 自主防災組織 109件 15,077,000円

4 災害対策本部設置経費

本庁舎の改修に伴い、平成29年度から災害対策業務を防災センター(第2司令塔)で行っており、災害対策本部の設置及び運営に必要な物品を購入した。

5 地域防災力向上支援事業

(1) 防災講習・防災訓練の実施

南海トラフ地震等の大規模地震の発生が危惧されている中、地域における防災の取組みを促進するため、自治会や自主防災組織及び小中学校等からの要請に応じ、防災講習や防災訓練指導を実施した。

- ア 実施回数 143回

- イ 参加人数 11,006名
- ウ 実施内容
 - ・緊急時の行動や家庭内での防災対策の説明
 - ・児童、生徒等への防災教育
 - ・三重県防災啓発車による地震体験支援
 - ・災害時の避難行動訓練指導

(2) 地域防災マップ作成事業

住民が災害に強いまちづくりを行うことを目的として、防災について話し合い、顔の見える関係を作り、課題の共有や改善を行うため、地域住民の力で行うタウンウォッチングの説明会を実施した。タウンウォッチングの結果、地域で避難経路や地域資源等の情報共有を行うとともに、それらの情報を記載した防災マップを作成した。

- ア 説明会 実施年月日 平成29年11月26日（日）
参加自治会 11自治会

- イ 作成実績 辻久留町自治会、下小俣自治会、中島町内会、村松町会、緑ヶ丘自治会、河崎連合会、旭町自治会、黒瀬町中崎自治会、楠部町自治会、宮崎連合町内会、小木町、鹿海町自治会 計 12自治会

(3) 高齢者等宅家具固定事業

過去に発生した大規模な災害では、住宅内の家具の転倒により多くの死傷者が発生した。その中でも、高齢者、障がい者などの方が被災されるケースが多数見受けられたため、高齢者等を対象に家具固定事業を実施した。

- ア 申込件数 35件
- イ 申込期間 平成29年8月1日～平成30年1月31日

(4) 自主防災隊リーダー研修会の開催

地域の自主防災組織活動の中心的役割を担うリーダーの育成を図るため、研修会を防災センターで開催した。

- ア 実施年月日 平成29年10月15日（日）
- イ 参加人数 69名（参加自主防災隊 35隊）
- ウ 講師 池田 恵子 氏（静岡大学教授）
- エ 研修内容 「防災と男女共同参画」と題した講演を受け、東日本大震災などの被災経験から、災害支援に男性、女性、多様性配慮の視点の重要性について考える。

6 避難対策事業

(1) B C M（伊勢市業務継続マネジメント）定例会の開催

各部、各チームが主体性を持ってB C Mに取り組むためにB C M定例会を開催し、課題の進捗報告等を行った。

- ア 実施年月日 平成29年8月28日（月）、平成30年3月27日（火）
- イ 参加者 市長、部長級、総合支所長等
- ウ 講師 川口 淳 氏（三重大学准教授）

エ 内容 各部、各チームでのBCMへの取組み状況の報告及び伊勢市全体で共有すべき課題事項の共有

(2) 図上訓練の実施

プロジェクト型災害対策本部体制の習熟度を上げ、第2司令塔となる防災センターでの災害対策業務を経験することを目的に職員を対象とした図上訓練を実施した。

ア 実施年月日 平成29年7月27日(木) 13:30~16:30
平成29年7月28日(金) 9:00~12:00、13:30~16:30

イ 参加者 約300名

ウ 訓練内容 風水害による宮川の破堤直前から破堤直後の事案を想定し、災害対策本部における迅速な情報共有のルール確認や役割分担の確認を行った。
また、訓練終了後、講評を受けた。

エ 講評者 川口 淳 氏(三重大学准教授)

(3) 津波避難訓練の実施

宮川左岸沿岸部において、地域と協働し、各自が津波浸水開始時間(約30分)までに津波緊急避難所等への避難を完了する避難訓練を実施した。

ア 開催年月日 平成29年12月10日(日)

イ 参加者数 1,673名

ウ 参加地区 北浜・豊浜地区

7 防災センター運営事業

平成28年4月1日にオープンした防災センターは、市民の防災に関する知識の普及及び技術の向上並びに防災意識の高揚を図るとともに、災害時における災害応急対策の第2司令塔となっており、施設の管理、運営を行った。

(1) 管理運営方法

市が直接管理し、使用料は無料で運営している。(年末年始8日間は休館)

(2) 利用状況

年度	体験学習室	研修室1	研修室2	研修室3	多目的ホール	小計	イベント等	合計
H29	6,444人	4,796人	261人	605人	3,673人	15,779人	1,550人	17,329人
H28	8,055	3,226	214	236	4,023	15,754	2,300	18,054

(3) 実施イベント

ア 消防・防災フェスタ

消防本部と共催で「消防・防災フェスタ」を防災センターで開催した。

・開催日 平成29年5月21日(日)

・来場者数 850人

・イベント内容 はしご車体験搭乗、放水体験、地震体験車、防火服着装体験、煙避難体

験、初期消火体験、防災シアター、浸水車両脱出体験、チビッコ・レスキュー体験、備蓄食料試食、伊勢市アマチュア無線災害ネットワークによる模擬無線通信 など

イ 救急と災害を考える集い

伊勢地区医師会・伊勢保健所等と共催で「救急と災害を考える集い」を開催した。

- ・開催日 平成29年 9月 3日（日）
- ・来場者数 700人
- ・イベント内容 特別講演、応急手当体験、煙避難体験、初期消火体験、防災シアター、災害時の口腔ケア、血圧測定・健康相談、手洗いチェッカー、はしご車体験搭乗、地震体験車、防災物品展示、防災救出体験 など

(4) 伊勢市防災大学

防災について、総合的に学ぶ機会を提供し、防災知識の豊富な人材を育成し、地域の防災力向上及び災害に強いまちづくりを支援するため、伊勢市防災大学を開校した。

回	日 時	内 容	講 師	参加者数
第1回	7月16日（日）	・開校式 ・防災講演	三重大学 川口 淳 准教授	42人
第2回	8月20日（日）	・プラ容器で立体地形	人と防災未来センター 坪井 塑太郎 主任研究員	73
第3回	9月24日（日）	・防災食クッキング	三重県地域活動栄養士 連絡協議会伊勢支部	39
第4回	10月15日（日）	・防災と男女共同参画	静岡大学 池田 恵子 教授	117
第5回	1月28日（日）	・視察研修	人と防災未来センター （兵庫県神戸市）	40
第6回	2月18日（日）	・災害ボランティア	伊勢市社会福祉協議会 藤原 真人 氏	44
第7回	3月11日（日）	・修了式 ・学んだこと発表会	—	34

（注1）第2回講義は、市内小学生18人及びその保護者15名を含む。

（注2）第4回講義は、伊勢市防災コーディネーター11名及び市内自主防災隊員69名を含む。

（注3）第6回講義は、伊勢市防災コーディネーター7名を含む。

8 備蓄物資整備事業

伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき非常用食料等を購入・更新し、物資及び資機材の整備を行った。

(1) 購入関係

種 類	品 目	H29購入	備蓄総量	備蓄目標
食料	ビスケット	14,140食	53,559食	71,065食
	お粥（アルファ米のお粥を含む）	2,400食	7,800食	11,521食
飲料水	ペットボトル（500ml）	28,224本	194,831本	555,345本

生活必需品	紙おむつ(小)	21,460枚	64,496枚	66,532枚
	紙おむつ(大)	9,020枚	27,126枚	27,814枚
	生理用品	14,190枚	42,570枚	142,647枚
	アルミシート(簡易毛布)	1,800枚	42,100枚	83,422枚
	使い捨て哺乳瓶	2,000本	6,070本	9,687本
避難生活施設 運営資機材	ブルーシート	160枚	4,226枚	5,225枚
トイレ関係	トイレ処理剤	95,400個	291,184個	610,608個
	簡易トイレ	45台	260台	422台
	簡易トイレ用テント	43張	271張	422張

※平成29年購入数には職員用の備蓄物資及び津波緊急避難所の備蓄物資も含む

(2) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内 防災倉庫 30か所	災害用毛布クリーニング 及び真空圧縮業務委託	クリーニング 及び真空圧縮 3,233枚	円 2,496,522	29. 7. 26	30. 1. 22

(3) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町明野 地内	明野第5・6防災倉庫 解体工事	防災倉庫解体	円 446,040	29. 12. 25	30. 1. 17
小俣町相合 地内	米子防災倉庫解体工事	防災倉庫解体	461,160	29. 12. 25	30. 1. 23
計	2件	—	907,200	—	—

9 伊勢市防災会議の開催

災害対策基本法の規定に基づき、伊勢市地域防災計画の修正等を行うため、伊勢市防災会議を開催した。

- (1) 開催年月日 平成30年3月29日(木)
- (2) 出席者数 26名
- (3) 内容 議事 地域防災計画の修正について
水防計画の修正について
報告 平成29年台風第21号について
伊勢市の主な事業概要について
防災会議構成機関の災害時の対応
三重河川国道事務所、中部電力

10 災害協定の締結

災害発生時に迅速な応急対策を行うため、民間事業所等と災害時の応援協定を締結した。

締結先	締結年月日	協定の名称
株式会社マサグループ本社	29. 5. 29	津波発生時における津波緊急避難所としての使用に関する協定書(クレド宮後)

株式会社海栄館	29. 11. 9	災害時における災害時要配慮者に対する宿泊施設等の提供に関する協定書（千の杜）
---------	-----------	--

(注)平成29年度末の協定締結数 101件

11 災害用民間井戸登録の普及

災害時における生活用水の確保と市民の防災意識の向上を図るため、災害用井戸の登録を募集し、水質検査を実施した。また、登録井戸一覧をホームページに公表するとともに自治会役員等に周知した。

(1) 件数 244件（平成29年度17件増加）

(2) 募集期間 平成29年5月2日～平成29年11月30日

○ 危機管理関係

1 伊勢市国民保護協議会の開催

武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づき、伊勢市国民保護計画の変更等を行うため、伊勢市国民保護協議会を開催した。

(1) 開催年月日 平成30年3月29日（木）

(2) 出席者数 31名

(3) 内容 議事 伊勢市国民保護計画の変更について
報告 国民保護に関する取組みについて
陸上自衛隊第33普通科連隊

○ 防犯関係

1 伊勢市防犯推進協議会の活動

「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するために、事業計画を策定し、市民の防犯意識の高揚と自主防犯活動の推進を図り、より安全で安心できる市民生活の確保に努めた。

(1) 地域安全講習会の開催

平成29年4月5日から平成30年3月15日の間に、26回開催し、851名の受講者があった（対象は、自治会・老人会等）。

- 内 容
- ・防犯DVDや寸劇による啓発（振り込め詐欺等）
 - ・伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員による管内の犯罪等の発生状況、事例に沿った犯罪の手口とその対策方法について
 - ・防犯アドバイザーによる地域の防犯対策について

(2) 街頭啓発活動の実施

平成29年4月10日から平成30年3月23日の間に、振り込め詐欺等の特殊詐欺被害防止啓発活動を28回実施した。

- 内 容
- ・ATMを使った振り込め詐欺被害を水際で防止するため、伊勢警察署、

伊勢度会地区生活安全協会及び伊勢市自主防犯団体連絡会と合同で、市内3か所のATM設置場所（イオンタウン伊勢ララパーク店、ピアゴ上地店、和食さと伊勢店横）や市内ショッピングセンター等で声かけやチラシを配布し、詐欺被害防止に努めた。

(3) 防犯情報による啓発

伊勢警察署や市内の学校から寄せられた不審者情報や振り込め詐欺情報、犯罪発生情報の「防犯情報」を、防犯メール登録者に配信し、注意喚起と啓発に努めた。配信回数19回。

(4) 防犯モデル地区の指定

地域住民が防犯に対する理解と認識を深め、連帯意識を高めて、自主的な地域安全活動を推進できるようモデル地区を指定し、自主的な防犯活動の支援を行った。

指定期間 平成28年度から平成29年度 指定地区 津村町自治会

ライブリーシティ伊勢前山自治会

指定期間 平成29年度から平成30年度 指定地区 御菌町新開区

(5) 「伊勢市自主防犯団体連絡会」総会の開催

各自主防犯団体間の連携を強化し、さらなる資質の向上と防犯活動の活性化をさせるため、「伊勢市自主防犯団体連絡会」総会を開催した。

ア 開催年月日 平成29年4月20日（木）

イ 開催場所 伊勢市ハートプラザみその

(6) 「伊勢市自主防犯団体連絡会」講演会の開催

地域住民が防犯意識を高め、地域ぐるみで防犯活動に取り組むことで、より安全で安心なまちをめざすための講演会を開催した。

ア 開催年月日 平成29年4月20日（木）

イ 開催場所 伊勢市ハートプラザみその

第1部 演 題 「安全安心な街 明るく楽しい街 自助・共助のあふれる街！」
講 師 津市豊が丘地区自治会連合会会長 生川 介彦 氏

第2部 演 題 伊勢市内で発生した特殊詐欺の寸劇「だまされないで！その電話！」
出 演 伊勢市職員、伊勢度会地区生活安全協会職員

ウ 参加人数 約140名

(7) 地域安全展の開催

伊勢度会地区生活安全協会と共催で、伊勢まつり会場内に「地域安全展」のコーナーを設け、幼児から高齢者を対象に防犯意識の高揚に努めた。

ア 開催年月日 平成29年10月8日（日）

イ 内 容 ・防犯啓発チラシ及び啓発物品の配布
・似顔絵コーナー
・防犯機器等の展示

(8) 全国地域安全運動における「安全安心まちづくり防犯研修会」の開催

伊勢警察署及び伊勢度会地区生活安全協会が主催、伊勢市及び伊勢市自主防犯団体連絡会が共催し、防犯研修会を開催した。

ア 開催年月日 平成29年10月11日（水）

イ 開催場所 伊勢市ハートプラザみその

・演 題 防犯対策講話「管内情勢を踏まえた防犯対策等について」

講 師 伊勢警察署 生活安全課長 新村 幸治 氏

・演 題 テロ対策講話「みテますキープ制度の運用について」

講 師 伊勢警察署 警備課長 杉野 直人 氏

・演 題 「歌を交えた特殊詐欺被害防止出前講座」

講 師 みの吉（中元 実）氏

ウ 参加人数 約160名

2 防犯灯LED化推進事業

夜間に路上で発生する犯罪等を防止するため、防犯灯の設置を推進するとともに、自治会及び市が所有する防犯灯を蛍光灯に比べ電気料金・CO2排出量が約50%削減でき、6～7倍長寿命であるLED防犯灯へ取替えを推進した。

(1) 防犯灯に係る補助金及び助成金交付

自治会が所有する防犯灯の整備等に対し、「伊勢市防犯灯整備事業補助金交付要綱」及び「伊勢市防犯灯助成金交付要綱」に基づき補助金及び助成金を交付することにより、地域の防犯環境の整備を支援した。

・防犯灯新設 146灯（旧伊勢109灯、旧二見9灯、旧小俣22灯、旧御薊6灯）

・防犯灯修繕 544灯（旧伊勢398灯、旧二見31灯、旧小俣45灯、旧御薊70灯）

・LED取替 1,751灯（旧伊勢1,256灯、旧二見131灯、旧小俣256灯、旧御薊108灯）

・防犯灯電気代 13,393灯（旧伊勢9,771灯、旧二見860灯、旧小俣1,916灯、旧御薊846灯）

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
伊 勢 市 内	(注) 防犯灯LED取替工事	LED防犯灯取替 工事（計143灯） 小俣町 132灯 二見町 8灯 御薊町 3灯	円 4,746,600	29. 9. 22	30. 1. 19

(注) 上水道課施行

3 防犯パトロールの実施

児童・生徒に対して登下校時に発生している不審者による声かけ事案等からの被害防止を図るため、防犯パトロールを実施した。

内 容 ・市内全小中学校周辺及び不審者出没地域を重点に、下校時にあわせて青色回転灯
装備車でパトロールを行った。パトロール回数85回

防 災 施 設 整 備 課

○ 避難所等整備事業

1 津波避難施設整備

津波の浸水が予測される避難困難地に津波避難施設関連の整備を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
大湊町 地内ほか	津波避難施設消防 用設備保守点検業 務委託	消防用設備保守点検 一式	円 159,840	29. 6. 15	30. 1. 22
東豊浜町 地内	(注1) 東豊浜町津波避難 施設新築工事監理 業務委託	監理業務 一式	1,804,680	29. 7. 14	30. 3. 29
二見町 今一色 地内	(注1)(注2) 二見町今一色津波 避難施設新築工事 監理業務委託	監理業務 一式	0 【契約額】 2,027,160 [平成29年度] 0 [平成30年度] 2,027,160	29. 7. 14	30. 7. 13
計	3件	—	1,964,520		

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 平成30年度へ繰越

※合計は各行の最上段を合算。

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
磯町 地内	磯町津波避難施設 養生シート撤去 工事	養生シート撤去 1,070 m ²	円 432,000	29. 4. 14	29. 5. 31
宮後2丁目 地内	避難所看板設置 工事	避難所看板設置 1か所	324,000	29. 6. 2	29. 7. 11
二見町 今一色 地内	二見町今一色津波 避難施設整備に伴 う用地造成工事	土工 一式 管渠工 28m 集水柵工 6か所	2,912,760	29. 6. 2	29. 7. 14
東豊浜町 地内	(注1) 東豊浜町津波避難 施設新築工事	鉄筋コンクリート造 3階建 建築面積 343.98 m ² 延べ面積 708.07 m ²	221,076,000	29. 7. 12	30. 3. 20

二見町 今一色 地内	(注1)(注2) 二見町今一色津波 避難施設新築工事 (建築工事)	鉄筋コンクリート造 3階建 建築面積 684.75 m ² 延べ面積 1,054.56 m ²	円 103,092,000 【契約額】 357,696,000 [平成29年度] 103,092,000 [平成30年度] 254,604,000	29. 7. 12	30. 6. 29
〃	(注1)(注2) 二見町今一色津波 避難施設新築工事 (電気設備工事)	電気設備工事 一式	7,000,000 【契約額】 18,478,800 [平成29年度] 7,000,000 [平成30年度] 11,478,800	29. 7. 14	30. 6. 29
二見町 今一色 地内ほか	避難所看板設置 (その2) 工事	避難所看板設置 2か所	864,000	29. 12. 22	30. 3. 13
計	7件	—	335,700,760		

【10万円以下の工事】 宇治館町地内ほか 避難所看板補修工事 99,360円

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 平成30年度へ一部繰越

※合計は各行の最上段を合算。

2 避難所環境の整備

避難生活施設の環境整備を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
神田久志本町 地内ほか	災害用トイレ基本 計画策定業務委託	災害用トイレ基本計画 一式	円 7,050,240	29. 10. 13	30. 3. 15

3 地震自動解錠付防災ボックスの設置

津波の浸水が予測される地域の自治会避難所へ何時でも避難が可能となるように、震度4以上の地震を感知した時に解錠する防災ボックス（鍵ボックス）を設置した。

設置場所	金額
東大淀町民会館、柏町民会館、小川町民会館、東豊浜町土路区町民会館、上條公民館、王中島公民館、下長屋公民館、中長屋公民館、上長屋公民館、高向公民館、新高公民館、小林公民館、新開公民館、大湊コミュニティセンター、今一色コミュニティセンター、西コミュニティセンター、西農業研修センター、茶屋区防災センター、溝口会館（計19か所）	円 4,896,072

○ 防災センター維持管理事業

1 防災センター案内標識の整備

防災センターを案内するための標識を整備した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
神田久志本町 地内ほか	伊勢市防災センター 案内標識設置工事	案内標識設置 6か所	円 5,052,240	30. 1. 4	30. 3. 15